

# SUBSEA LOAD CELLS

— 浮体式洋上風力発電設備向け係留荷重測定器 —



浮体式洋上風力発電設備は洋上に浮かぶという構造から、係留設備が必要不可欠です。また、日々の運用や長期の保守管理において、係留設備へ負荷される荷重データを監視することは極めて重要です。しかしながら、設置場所が海中という特殊環境であり、測定機器にも特殊な構造が要求されることが課題となっています。我々はこれら課題に対するソリューションを提供いたします。

## SUBSEA LOAD CELLS

— 海中対応型ロードセル —



### 特長① 密閉構造

海中使用を想定した完全密閉構造

### 特長② 測定精度

高い測定精度でリアルタイムに検出、出力

### 特長③ 応用性

様々な係留設備に応じた構造を設計可能

### 特長④ 柔軟性

定格出力、外部出力仕様など柔軟に設計対応

浮体式洋上風力発電設備の係留設備は、長期間かつ海中という特殊な環境です。特殊な環境に適したSUBSEA LOAD CELLS（海中対応型ロードセル）を用いた係留荷重測定器を提供します。

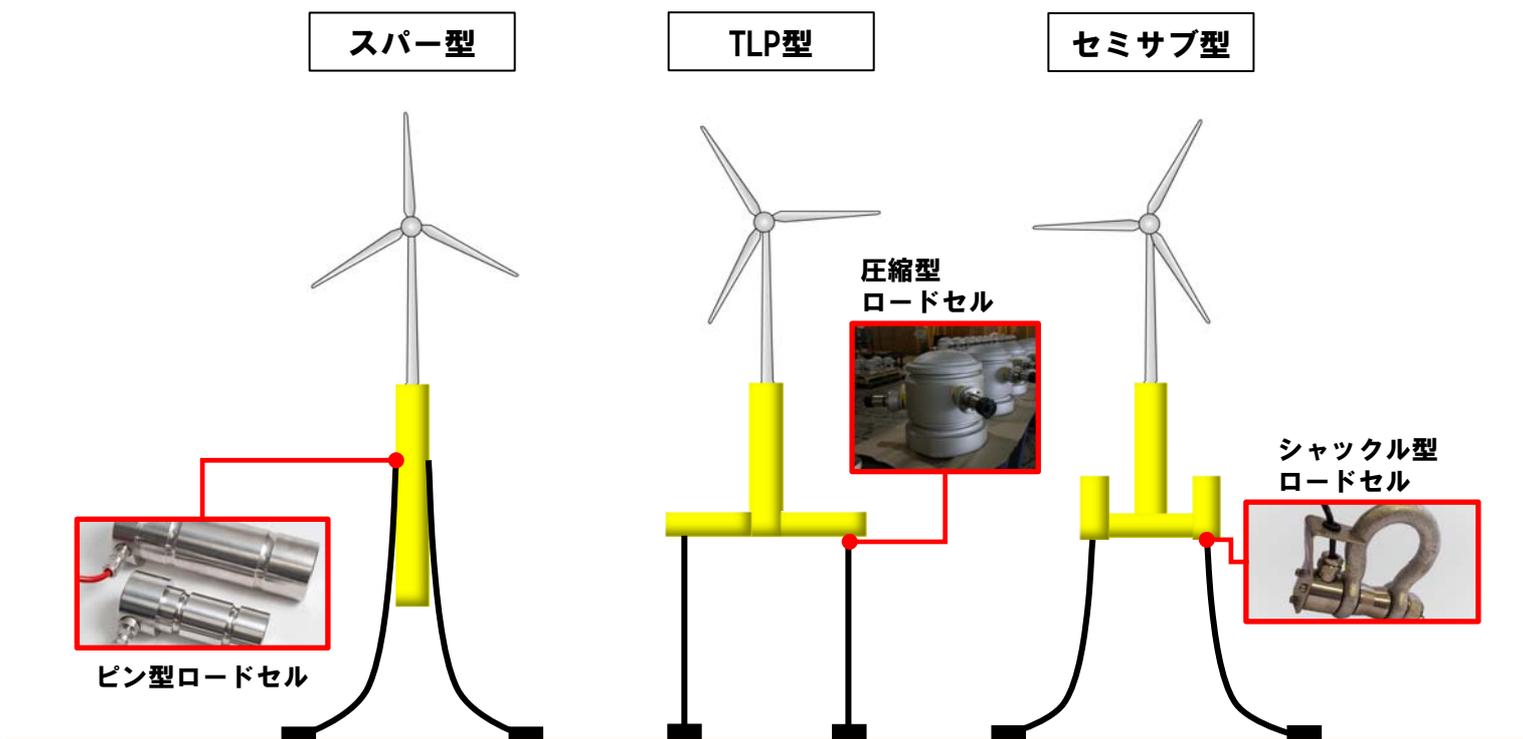
株式会社マリックスエンジニアリング

東京都港区新橋6丁目21番3号 UMAXビル5F  
TEL: 03-6403-4477 / FAX: 03-6403-4700

記載内容はお断りなく変更することがありますので、ご了承下さい。  
本書の一部または全部を無断複製することは禁止されています。

Copyright © Marix Engineering K.K. All Rights Reserved

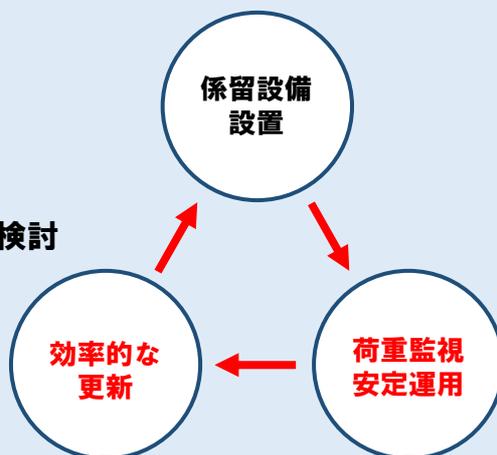
## ◎代表的な浮体式洋上風力発電設備の構造と組込例



海中対応型ロードセルは、これまで浮体式海洋石油・ガス生産設備等の海中に設置される係留設備向けとして世界中に多くの納入実績があります。さらに、浮体式洋上風力発電が先行しているヨーロッパにおいて、既にこの製品が導入されています。

## ◎導入による効果

- ✓経年変化の状況把握と将来予測
- ✓実績と分析結果に基づく仕様の再検討
- ✓効率的な更新計画の立案



- ✓ピーク荷重の確認
- ✓破損など異常の早期発見
- ✓シミュレーションとの比較・分析

係留荷重測定器により検出される荷重データは、係留設備の監視、運用状況の分析や経年変化の予測を可能にします。それらに基づく仕様の再検討等を含めた**効率的な更新計画の立案**により、**長期の安定運用と「均等化発電原価（LCOE）」の低減**に貢献します。

運用中・計画中に関わらず設備の構造やご要望にあわせて最適な装置を提案いたします。お気軽にお問い合わせください。